

歴史の散歩道

(54)

猪野の 白山稚児神社と人宿

白山に登山することを近世までは白山参詣といい、平泉寺にお参りするこ

とを平泉寺参詣といいました。参詣という言葉に神仏に対する信仰心の深さがあらわれ、参詣者に清浄心という心がまえをもつことを求めました。古代・中世の平泉寺の参詣者は、猪野の白山稚児神社のある丸山付近と下馬大橋付近で、まず参詣の準備をしました。

近世の白山平泉寺境内古図によれば、現在の白山稚児神社のある丸山には、「日御前」、その西麓に「児宮（児之御前、稚児権現ともいう）」があり、周辺には「和勞堂」というお堂がありました。また丸山の字名を猪野の区民は人宿と呼んでいます。

和勞堂とは、文字どおり勞を和らげる堂という意味で、平泉寺や白山に参詣する人の無料休憩所ではないでしょうか。比叡山の根本中堂付近にはかつて和勞堂がありましたが、今は「鶴喜そば」の店名になごりをとどめていません。参詣者はこの堂で食事をし、衣類を調べ、新しい草鞋に履き替えるなどし、参詣の準備をしたのではないのでしょうか。菩提林の入口を「沓掛」といいますが、新しい草鞋に履き替えて、

古い草鞋を木にかけたという意味です。

また平泉寺区の南谷付近から流れる川には「下馬大橋」がかけられて、境内古図では三人の人物が橋をわたっています。この「下馬」は、参詣者が馬をおりたところであり、白山神社境内の「下乗」は駕籠からおりたところです。そして、この川で襦ぎをしました。

現在は淀川と漢字で表記するジョウガワは、淨川と書くと本来の意味になります。平泉寺や白山へ参詣する者が、この川の水で襦ぎをして身を清めたところでしょう。

参考文献 天野俊也『泰澄大師御母のふるさと・勝山市猪野』
勝山市文化財保護委員 佐野光臣



猪野の白山稚児神社



編集後記

6月は、環境月間です。学校の衣替えを皮切りに、市役所も今月からノーネクタイ・ノー上着による夏の軽装勤務に取り組み始めました。日常生活の身近な環境保全の取り組みは、資源の少ない日本で、より豊かな自然や環境を子孫に譲り渡していくための第一歩だろうと思います。「水無月」。田の一番草や二番草を取り終え、稲作の大切な仕事をし尽くした、つまり「皆し尽くした月」が詰まって「みなつき」または旧暦の6月は梅雨が明けて水が少ないからという二つの説があるそうです。これから、入梅ですが、健康管理をしっかりと...



火災発生

88-5100(テープ吹き込み)



休日・祝日救急当番医

診療時間 A 09:00 ~ PM5:00

6/19 (日)	芳野医院	88-2005
6/26 (日)	クリニカ・デ・ふかや	88-0011
7/3 (日)	河北小児科医院	88-1234
7/10 (日)	小林眼科	87-7888
7/17 (日)	佐々木胃腸科外科医院	87-2616
7/18 (月)	わかばやしこども内科クリニック	88-2415

問 消防署(88-0400)



交通事故発生状況

高齢者 = 65歳以上

件数内訳	平成17年5月末	前年比
総件数	212件	-17
人身事故 (うち高齢者)	33件 (6)	-19 (-11)
死者 (うち高齢者)	2人 (1)	0 (+1)
傷者	48人	-21
物損事故	179件	+2



6月の納税

市県民税 1期(全期)
納期限 6月30日(木)
口座振替日 6月27日(月)



人口の動き

	4月末現在	自然動態		社会動態		5月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	13,339人	9	-8	23	-20	13,343人	4
女	14,617人	10	-11	30	-46	14,600人	-17
合計	27,956人	19	-19	53	-66	27,943人	-13
世帯数	8,129世帯					8,131世帯	2

毎月第3日曜は

家庭の日

社会のきまりをまもり 明るいまちやむらをつくろう